



地域を見つめる経済情報誌

# 長野しんきん 北信地区経済動向



「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけます。

## 月例調査レポート



飯綱町  
春の丹霞郷

昭和8年、洋画家の岡田三郎助がこの地を訪れ、桃の花が盛りの風景を「まるで丹い霞がたなびいているようだ。」と表現し、「丹霞郷」と名付けたといひます。10haほどの緩やかな傾斜地に900本ほどの桃が育てられています。毎年、春の訪れとともに残雪が映える北信五岳を背景に從えた「丹い霞」が現れ、訪れる人々を楽しませてくれます。

- 長野しんきん 月例調査レポート ..... 2
- 企業アンケート「賃上げ」② ..... 6
- インタビュー 変革期の経営ビジョン ..... 8
- 北信濃 明治時代の風景 (26) 飯山 ..... 10

「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫 すかい](#)



# 概況 全産業

## 生産は2カ月ぶりの上昇 前年同月比は4カ月連続の低下

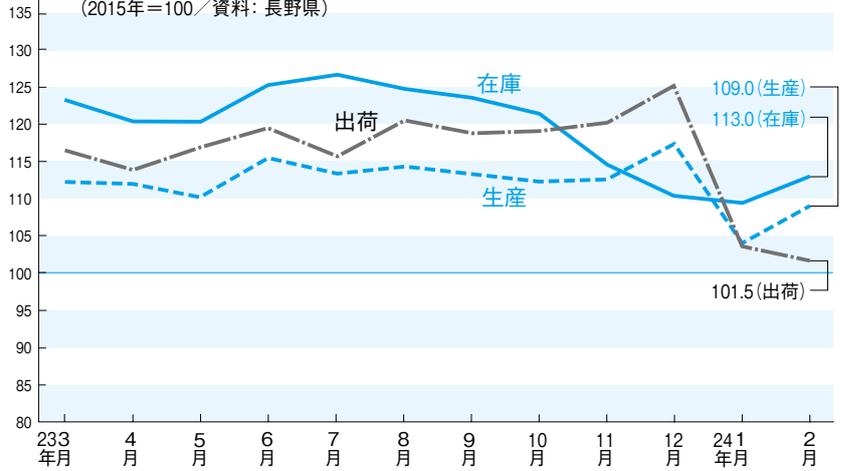
### ◇2024年2月の長野県鉱工業指数 (速報：季節調整済指数)

生産は109.0(前月比+4.9%)で2カ月ぶりの上昇、出荷は101.5(同▲2.0%)で2カ月連続の低下、在庫は113.0(同+3.2%)で5カ月ぶりの上昇となりました。

### ◇前年同月比(原指数)

生産は108.2(前年同月比▲6.6%)で4カ月連続の低下、出荷は103.0(同▲4.5%)で2カ月ぶりの低下、在庫は115.4(同▲3.3%)で3カ月連続の低下となりました。

●長野県鉱工業の生産・出荷・在庫指数(季節調整済)の推移  
(2015年=100/資料：長野県)



- [生産] **上昇**…化学、はん用・生産用・業務用機械、情報通信機械など12業種  
低下…プラスチック製品、金属製品、非鉄金属など4業種
- [出荷] **上昇**…化学、食料品、その他など5業種  
低下…電子部品・デバイス、はん用・生産用・業務用機械、情報通信機械など11業種
- [在庫] **上昇**…はん用・生産用・業務用機械、電気機械、化学など10業種  
低下…電子部品・デバイス、窯業・土石製品、プラスチック製品など6業種

## 月例調査

### 全産業の「売上高」は増加

前回調査 2024年2月

### ◇4月調査による[北信地区の経済状況]

全産業(不動産業・旅館業除く)の売上高前年同月比は、増加した企業が28%、不変が39%、減少

が33%となりました。2月調査時に比べると増加が4割減、不変が3割減、減少が8割増となり全体として減少の状況です。

### ●売上高(生産高・施工高)前年比「増加・不変・減少」割合

矢印は前回調査比 (3ポイント以上の動き) **↗** 増加 **→** 不変 **↘** 減少  
**↗** 改善 **→** 不変 **↘** 悪化

業種	前回	今回	改善/悪化	調査対象数	回収率	30人未満	30人以上
全産業	32.6 ↘	28.2 ↘	↘	191社	86.8%	71.7%	28.3%
製造業	20.6 ↘	28.2 ↘	↘	196社	89.1%	72.4%	27.6%
建設業	33.9 →	39.0 ↘	↘	68社	87.2%	64.7%	35.3%
卸小売業	20.9 ↗	32.8 ↗	↗	62社	89.9%	83.9%	16.1%
サービス業	20.9 ↗	30.6 ↘	↘	44社	93.6%	81.8%	18.2%
輸送業	40.0 ↘	58.2 ↘	↘	5社	71.4%	80.0%	20.0%
外食業	40.0 ↗	40.0 ↗	↗	7社	77.8%	14.3%	85.7%
	60.0 ↘	14.2 →	→	42.9 ↘	10社	100.0%	50.0%
	30.0 ↗	10.0 ↗	↗				

# 製造業 食料品、金属加工品、一般機械、電気機械、自動車部品、精密機械

## 「生産高」電気機械・精密機械が増加するも、全体は減少

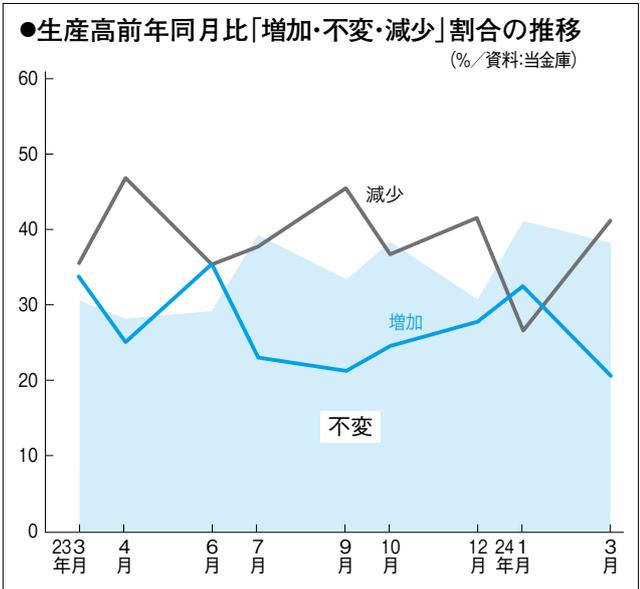
製造業の生産高前年同月比は、増加した企業が21%、不変が38%、減少が41%となりました。2月調査時に比べると増加が12ポイント減、不変が3ポイント減、減少が15ポイント増となり全体として減少の状況です。

### ●生産高前年同月比「増加・不変・減少」割合(%)

製造業	前回	32.4	41.1	26.5
	今回	増加 20.6	不変 38.2	減少 41.2
食料品		33.3	26.7	40.0
金属加工		14.3	42.8	42.9
一般機械		-0.0	37.5	62.5
電気機械		40.0	40.0	20.0
自動車部品		-0.0	75.0	25.0
精密機械		28.6	28.5	42.9

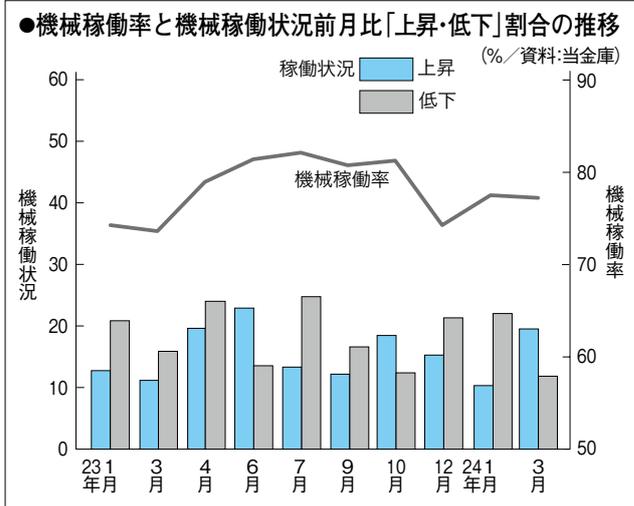
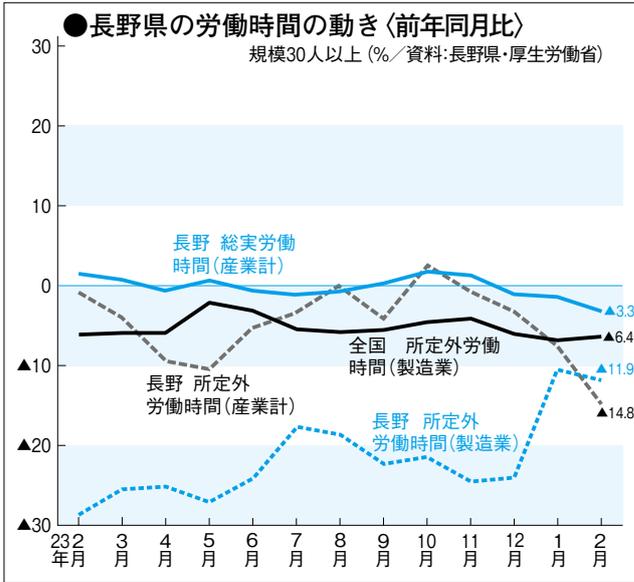
【業種別】 増加…電気機械・精密機械  
減少…食料品・金属加工・一般機械  
自動車部品

【機械稼働】	稼働状況(前回比)	上昇
	上昇割合	(10%) → 19%
	下降割合	(22%) → 12%
	稼働率	(78%) → 77%
【受注状況】	受注量(前回比)	下降
	増加割合	(15%) → 19%
	減少割合	(14%) → 20%
	受注残高	(1.9カ月) → 2.0カ月
【受注基調】	(前回比)	上昇
	上昇割合	(14%) → 22%
	下降割合	(20%) → 19%



### 企業からのコメント

- ★北陸新幹線の福井県までの延伸、能登地震の影響等により、観光客の足が鈍っていると思われる。  
(食品製造)
- ☆★令和5年12月以降、生産調整があったが3月は少し回復した。大手の動向に左右されるため、しばらく気を抜けない状況。7月以降あたりから上向いてくる見通し。  
(フェライト基盤)
- ☆★3月は人の動きもあり売上増が期待されたが、ギフトの需要の減少が大きく、売上増にはつながらなかった。  
(食料品)
- ☆★仕入先数社から価格改定(値上げ)があった。今後も業界の価格の動きを注視していきたい。  
(圧縮機)
- ☆★4月から原材料、人件費、運賃の値上げがあり、当社製品も6~10%の値上げを実施する見込み。  
(印版・紙器)



# 建設業

総合建設、土木工事、建築、各種設備

## 「施工高」土木・各種設備が増加するも、全体は減少

### 概況

建設業の施工高前年同月比は、増加した企業が34%、不変が31%、減少が36%となりました。2月調査時に比べると増加が1割増、不変が6割減、減少が6割増となり全体として減少の状況です。

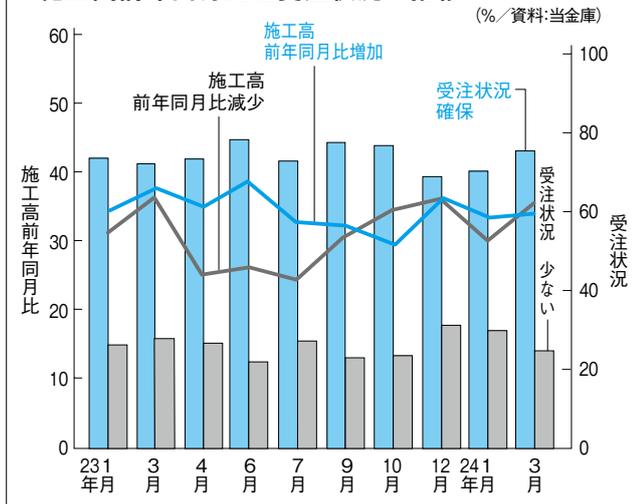
#### ●施工高前年同月比「増加・不変・減少」割合(%)

建設業	前回	33.3	36.7	30.0
	今回	増加 33.9	不変 30.6	減少 35.5
総合建設業		36.4	45.4	18.2
土木工事業		25.0	25.0	50.0
建築業		28.6	38.1	33.3
各種設備業		50.0	20.0	30.0

【業種別】 増加…土木工事・各種設備  
減少…総合建設・建築

【受注状況】 受注残高(前回比) 改善  
「多い・適正」割合 (70%) → 75%  
「少ない」割合 (30%) → 25%

#### ●施工高前年同月比と受注状況の推移



### 企業からのコメント

☆★製造業の設備投資、大型商業施設着工等により人手不足。労働時間上限規制も影響している。

★以前と変わらず、物価高・人手不足の深刻さが浮き彫りになっている。(以上、総合建設)

☆★大型案件はそこそこあるが、利幅の良い中小案件が少ない。マンション等の計画もあるが、今後の動向に注目したい。(内装仕上)

### 4～3月の公共工事 (東日本建設業保証取扱分)

長野県の4～3月の発注合計は、2,216.8億円(前年同期比+10.3%)となりました。前年比プラスは「県」の674.9億円(同+1.5%)、「市町村」の690.5億円(同+13.9%)、「そのほか」の440.6億円(+44.5%)、マイナスは「国」の405.9億円(同▲5.0%)でした。

北信地区市町村の発注合計は250.4億円(同+31.5%)で、うち長野市は105.3億円(同+31.3%)でした。

#### ●建設業保証取扱分から見た長野県と北信地区市町村の公共工事の状況(2024年3月/2023年4月～2024年3月累計)

(単位=百万円/資料:東日本建設業保証株)

		2024年3月	前年同月比	2023年4月～2024年3月	前年同期比
長野県	国	9,802	+11.0%	40,592	▲5.0%
	県	4,837	+76.4%	67,491	+1.5%
	市町村	3,707	+7.9%	69,046	+13.9%
	そのほか	3,811	+208.5%	44,057	+44.5%
	合計	22,157	+36.4%	221,679	+10.3%
北信地区	市町村	786	+61.5%	25,035	+31.5%
	(内長野市)	481	▲32.5%	10,525	+31.3%

### 4～3月の新設住宅着工戸数

長野県の4～3月の新設住宅着工戸数は11,046戸(前年同期比▲7.9%)でした。持家が5,949戸(同▲7.7%)、貸家が3,382戸(同+0.9%)、分譲が1,645戸(同▲23.5%)、給与が70戸(同+66.7%)です。

北信地区の4～3月の新設住宅着工戸数は3,082戸(同▲7.2%)でした。持家が1,563戸(同▲5.7%)、貸家が977戸(同+12.0%)、分譲が536戸(同▲32.2%)、給与が6戸(同+100.0%)です。

#### ●長野県と北信地区の新設住宅着工戸数

(2024年3月/2023年4月～2024年3月累計)

(資料:長野県)

		持家	貸家	分譲	給与	合計
長野県	3月	392戸	322戸	95戸	1戸	810戸
	前年同月比	▲3.7%	106.4%	▲26.9%	▲50.0%	16.5%
	4～3月	5,949戸	3,382戸	1,645戸	70戸	11,046戸
	前年同期比	▲7.7%	+0.9%	▲23.5%	+66.7%	▲7.9%
北信地区	3月	118戸	60戸	29戸	0戸	207戸
	(内長野市)	69戸	26戸	17戸	0戸	112戸
	前年同月比	▲35.6%	+200.0%	▲42.0%	——	+31.8%
	(内長野市)	▲40.8%	+160.0%	▲45.2%	——	+24.4%
	4～3月	1,563戸	977戸	536戸	6戸	3,082戸
前年同期比	▲5.7%	+12.0%	▲32.2%	+100.0%	▲7.2%	

## 卸小売業

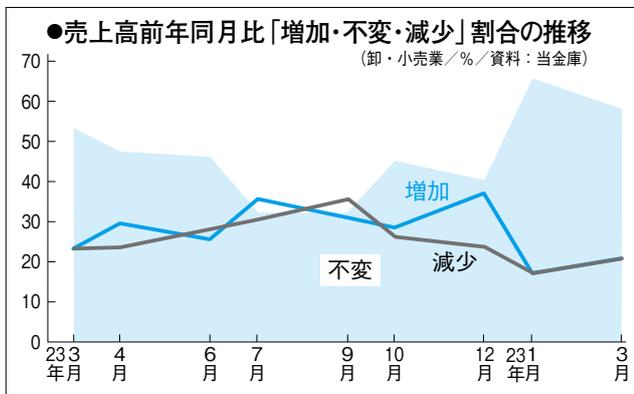
卸売業、小売業

### 「売上高」小売が増加、卸売は減少

卸小売業の売上高前年同月比は、増加した企業が21%、不変が58%、減少が21%となりました。2月調査時に比べ増加が4ポイント増、不変が8ポイント減、減少が4ポイント増となり全体としては横ばいの状況です。

#### ●売上高前年同月比「増加・不変・減少」割合(%)

卸小売業	前回	17.1	65.8	17.1
	今回	増加 20.9	不変 58.2	減少 20.9
卸売業		16.7	66.6	16.7
小売業		24.0	52.0	24.0



#### 【業種別】増加…小売業 減少…卸売業

3月の消費者物価指数(長野市) 2020年基準=100

◇総合指数(確報値)……108.7(前月比+0.2%)

(前年同月比+2.9%)(31カ月連続プラス)

上昇…「光熱・水道」「被服及び履物」「食料」

「教養娯楽」「保健医療」「諸雑費」「住居」

下落…「家具・家事用品」「交通・通信」

◇生鮮食品を除く総合指数…108.3(前月比+0.2)

(前年同月比+2.7%)(32カ月連続プラス)

#### 企業からのコメント

☆★来店客数は減少しているが物価高騰の影響もあり、一人当たりの客単価は上昇している。(スーパー)

★コロナ禍でインターネットショッピングを利用する人が増えたと聞いている。店舗を構える当社のような小売業者は当然苦しくなる。(雑貨)

★スポーツ用品全般の仕入価格も値上がりしており、お客様の買い控えが目立ってきている。(スポーツ用品)

★2月～3月の天候不順もあり売上が伸びない、送別シーズンも減少している。(花鉢)

## サービス業

サービス、輸送、外食、観光、不動産

### 「売上高」サービスは減少、輸送は増加、外食は減少

サービス業 売上高前年同月比は、増加した企業が20ポイント減の40%、不変が20ポイント増の40%、減少が横ばいの20%で、全体として減少の状況です。

輸送業 売上高前年同月比は、増加した企業が5ポイント増の43%、不変が2ポイント増の14%、減少が7ポイント減の43%で、全体として増加の状況です。タクシーは横ばい、運輸は増加です。

外食業 売上高前年同月比は、増加した企業が28ポイント減の60%、不変が18ポイント増の30%、減少が10ポイント増の10%で、全体として減少の状況です。

観光(旅館)業 入込数は前月比6%減少しましたが、前年同月比では8%増加しています。

不動産業 需給状況は前回に比べ、「双方手控え・どちらも低調」は1ポイント増加の44%、「引合いやや増加」は10ポイント減少の33%でした。

#### 企業からのコメント

☆外国人観光客が多くスキー場への輸送が増加。その他、3月は送別会等、夜の乗客が多かった。(タクシー)

☆★年度末の割には荷動きが悪い。2024年問題を目前にして、引き続き価格転嫁の要請が必須となっている。

★物流に明るい兆しは見受けられず前年度の売上を超えることが難しい状況で、値上げの要請と時間短縮の要請のふたつを上手にこなすことに苦戦を強いられている。(以上、運輸)

#### ●売上高前年同月比「増加・不変・減少」割合(%)

サービス業	前回	60.0	20.0	20.0
	今回	増加 40.0	不変 40.0	減少 20.0
輸送業	前回	37.5	12.5	50.0
	今回	42.9	14.2	42.9
うちタクシー業		100.0		8.8
うち運輸業		20.0	20.0	60.0
外食業	前回	87.5	12.5	0.0
	今回	60.0	30.0	10.0

賃上げした理由上位

「従業員のモチベーション向上」「従業員の離職防止」  
「物価上昇への対応」「業績が好調」

賃上げしない理由上位

「コスト増加分の価格転嫁ができない」「業績低迷」  
「電気代や燃料代高騰」「原材料価格高騰」

アンケート  
賃上げ②

2024年3月調査

## 「賃上げを実施した」理由

前号で2023年度に「賃上げを実施した」55%の企業に理由を聞きました。

「従業員のモチベーション向上」(78%)がトップで、以下「従業員の離職防止」と「物価上昇への対応」がともに(45%)、「業績が好調」(17%)が2ケタとなりました。

従業員規模で見ると、30人未満は30人以上より「物価上昇への対応」が2割高く46%です。30人以上は30人未満より「従業員の離職防止」が2割高く62%、「新規人材の確保」が1割高く24%、「業績が好調」が1割高く24%、「同業他社の動向」が1割高く11%、「従業員のモチベーション向上」が5割高く81%となっています。

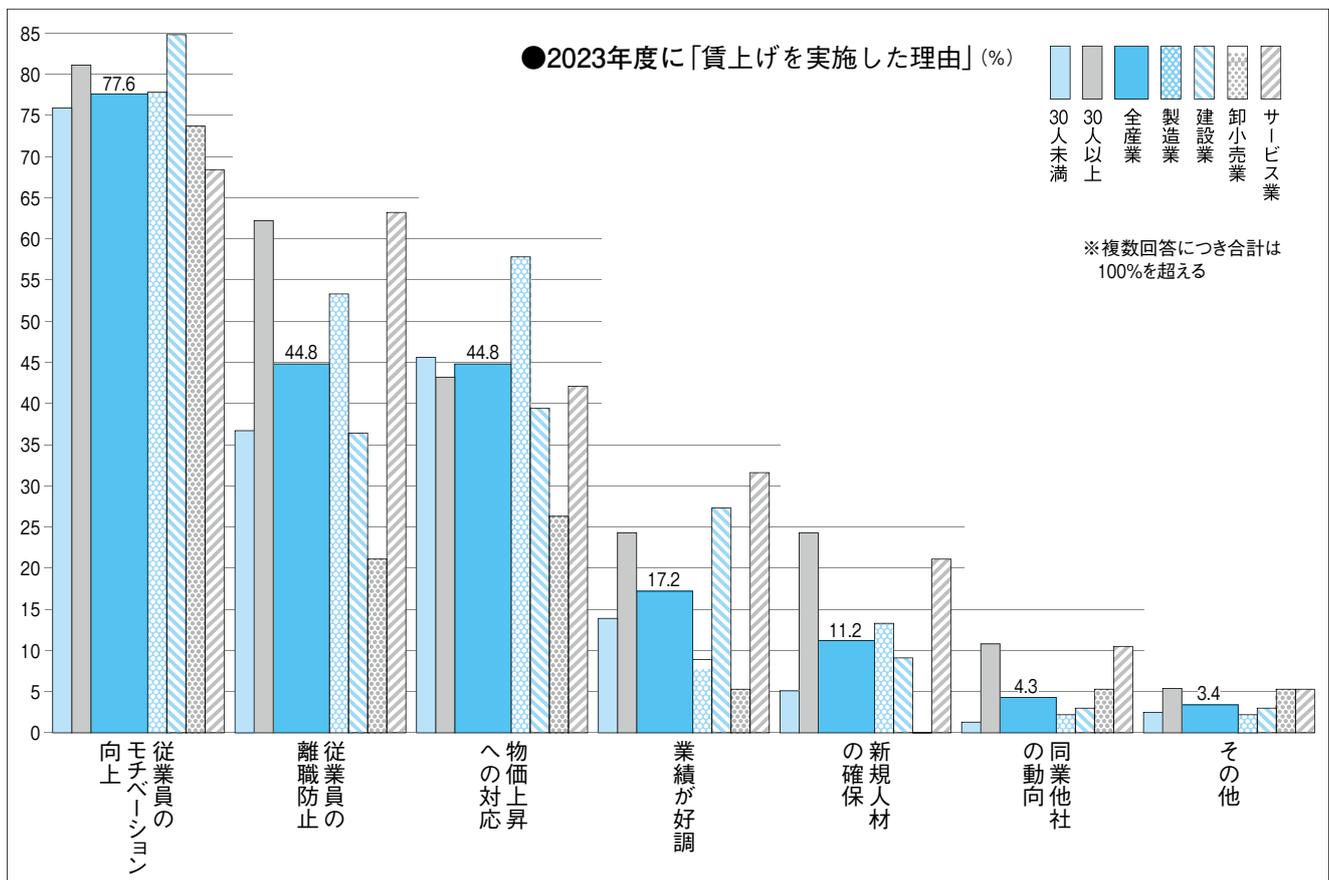
## 業種別

**製造業** 「物価上昇への対応」(58%)は4業種の中で最も高く、他方「同業他社の動向」(2%)は4業種の中で最も低くなっています。

**建設業** 「従業員のモチベーション向上」(85%)は4業種の中で最も高くなっています。

**卸小売業** 「物価上昇への対応」(26%)、「従業員の離職防止」(21%)、「業績が好調」(5%)、「新規人材の確保」(0%)は4業種の中で最も低くなっています。

**サービス業** 「従業員の離職防止」(63%)、「業績が好調」(32%)、「新規人材の確保」(21%)、「同業他社の動向」(11%)は4業種の中で最も高く、他方「従業員のモチベーション向上」(68%)は4業種の中で最も低くなっています。



## 「賃上げを実施しなかった」理由

前号で2023年度に「賃上げを実施しなかった」32%の企業に理由を聞きました。

「コスト増加分の価格転嫁ができない」(42%)がトップで、以下「業績低迷」と「電気代や燃料代高騰」がともに(22%)、「原材料価格高騰」(19%)、「受注の先行きに不安がある」(18%)、「人材の確保を優先」(12%)が2ケタとなりました。

従業員規模で見ると、30人未満の「人材の確保を優先」(13%)が13%、既に実施(8%)が8%、受注の先行きに不安がある(18%)が4%、30人以上より高く、30人以上の「電気代や燃料代高騰」(57%)が39%、「コスト増加分の価格転嫁ができない」(71%)が33%、「原材料価格高騰」(43%)が26%、「業績低迷」(43%)が23%、「設備投資を優先」(14%)が11%、30人未満より高くなっています。

## 業種別

製造業 「原材料価格高騰」(25%)、「既に実施

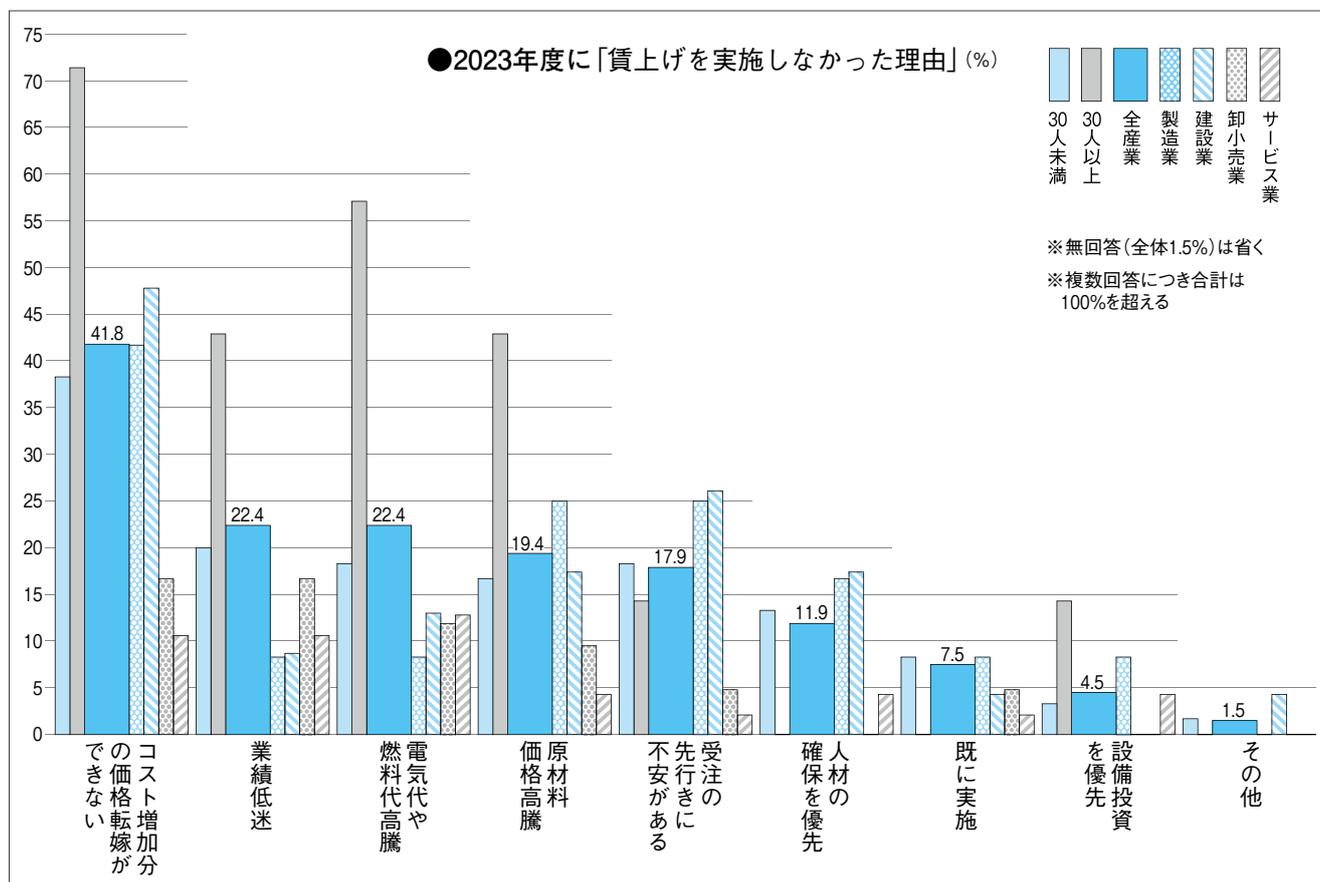
したため」と「設備投資を優先」がともに(8%)は4業種の中で最も高く、他方「業績低迷」と「電気代や燃料代高騰」がともに(8%)は4業種の中で最も低くなっています。

**建設業** 「コスト増加分の価格転嫁ができない」(48%)、「受注の先行きに不安がある」(26%)、「人材の確保を優先」(17%)、「電気代や燃料代高騰」(13%)は4業種の中で最も高くなっています。他方「設備投資を優先」(0%)は4業種の中で最も低くなっています。

**卸小売業** 「業績低迷」(17%)は4業種の中で最も高くなっています。他方「設備投資を優先」と「人材の確保を優先」がともに(0%)は4業種の中で最も低くなっています。

**サービス業** 「コスト増加分の価格転嫁ができない」(11%)、「原材料価格高騰」(4%)、「受注の先行きに不安がある」と「既に実施」がともに(2%)は4業種の中で最も低くなっています。

◇次号は「従業員に対するインフレ手当の支給」と「従業員が会社に要望すること」に関するアンケートを予定





## “一生”を麺に捧げたい。 この気持ちを持ち続ける

滝沢食品株式会社  
代表取締役社長 滝沢 秀治さん

### ●創業の経緯をお聞きます…

1913(大正2)年、私の祖父である滝沢袈裟治が旧埴科郡屋代町で精米・米雑穀業を始めました。1953(昭和28)年には、現会長である父の滝沢英雄とその兄の一郎が兄弟で祖父の手伝いをしながら製麺業を始め、1961(昭和36)年に、(株)滝沢精穀工場を設立、1964(昭和39)年に、滝沢食品(株)に商号を変更して現在にいたります。

製麺業を始めた当初は、そば・うどんの生麺製造を手がけ、1964(昭和39)年には当時流行し始めた“即席ラーメン”市場にも参入しました。さらに翌1965(昭和40)年には乾麺・生麺工場を現地籍に新設して、そばのほか、“白もの”といわれるそうめん・ひやむぎ・うどんの乾麺と生麺を増産しました。その後、即席麺市場からは撤退したものの、やがて当社の主力商品となる乾麺そばの商圏を徐々に広げていき、北海道から沖縄まで全国展開するようになり、輸出もされております。1992(平成4)年と2002(平成14)年には工場を増・新設し、事業を拡大していきました。

### ●社長になられた経緯をお聞きます…

大学を卒業後、東京の流通企業に入社。大学時代から、将来は父の後を継ぎたいという思いがありましたから29歳のときに滝沢食品に入社、製麺業に関することを学び、2020(平成22)年、48歳のときに継承し代表に就任しました。私が入社当時、当社では幅広く麺の製造をしていましたが、7年ほど前、今後はさまざまな麺を作るより「信州そば」に特化した方が良いのではないかとの考えから、乾麺は、そうめん・うどんな

どの“白もの”の製造をすべてやめ、「そば」のみにすることを決断しました。

### ●業務の概要をお聞きます…

そば作りに特化しています。以前は、乾麺と生麺の比率が同じでしたが、現在は乾麺そばが9割になっています。販売先は全国のスーパーなどの量販店のほか、大手食品メーカーを通じネット販売もしています。

全国で乾麺そばを製造している企業は多いのですが、当社の主力商品「十割そば」は、そば粉のみで製麺しており、製麺が難しく全国でも作っている企業は少数です。当社商品は、そば本来の豊かな風味をお楽しみいただくことができ、全国にファンが多い看板商品となっています。

また、小麦粉を使っていませんから小麦アレルギーの方にも安心して食べていただくことができ、“健康ブーム”もあって売上が伸びています。

そば製造のほかに、本社隣に「信州そば処一松亭」という「そばレストラン」を運営しています。この店舗は、先代の会長の一郎が「お客さまの声を直接聞いて製品づくりに生かしたい」という思いから1979(昭和54)年に開業しました。店名は一郎が「自分の“一生”を麺に捧げたい」という思いと、小学校入学時のクラスが“一年松組”だったことに由来しています。店舗は、新潟県の十日町にあった古民家の柱や梁などを譲り受け古民家風としました。大きな水車が目印となっています。製麺業者が運営する店舗ですから美味しさにこだわりながらも、盛りもよくリーズナブルな価格で提供しており、お客さまの評判は上々です。

### ●“コロナ禍”での運営に関してお聞きます…

外食が控えられた時期は、一松亭の売上も大きく落ちましたが、“巣ごもり需要”もあり、乾麺そばを選んでいただきましたので影響は最小限でした。

### ●今後の方針や夢をお聞きます…

現在の乾麺そばの国内市場は大きくは伸びて

はいませんが、長野県には「信州そば」というブランドがあり全国に多くのファンがいます。もっと美味しい乾麺そばを食べてもらいたい。そのために品質管理を徹底し、設備投資もしっかりやっていきたいと思っています。

私の後継は、長女（滝沢玲奈）となります。長女は東京大学経済学部を卒業後、(株)フジテレビジョンに入社して報道局に所属し、社会部や政治

部の記者として首相官邸の記事などを担当。2016(平成28)年に退職して当社に入社し、現在は滝沢食品(株)の専務取締役として製造・総務・人事・広報など幅広い分野を担当するとともに、エムケー精工(株)の社外取締役も務めています。

きっと、当社をさらに良い方向に導いてくれると思っています。



本社外景



—松亭全景



当社商品



—松亭メニュー



製造工程の一部

●事業の概要

創 業 1913(大正2)年  
 資本金 2000万円  
 代表者 滝沢 秀治  
 従業員 64名(男20・女44)  
 業 務 そば製造販売、飲食店  
 事業所 千曲市大字屋代2783番地

●沿革

1913(大正2)年 滝沢袈裟治が精米、米雑穀業を開始  
 1953(昭和28)年 製麺業開始  
 1961(昭和36)年 (株)滝沢精穀工場として法人設立  
 1964(昭和39)年 滝沢食品(株)に商号変更  
 1994(平成6)年 滝沢英雄が代表取締役社長就任  
 2002(平成14)年 千曲市倉科に工場新設  
 2010(平成22)年 滝沢秀治が代表取締役社長就任

# 北信濃 明治時代の風景

## (26) 飯山

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



これは明治10年代に作られた「信濃国下水内郡飯山町」(現飯山市)の図の、市街を中心とする部分です。水内郡が上水内郡と下水内郡に分かれたのは明治12年(1879)なので、それ以後に作られたことが分かります。右が北で左が南ですが、やや左に傾いています。

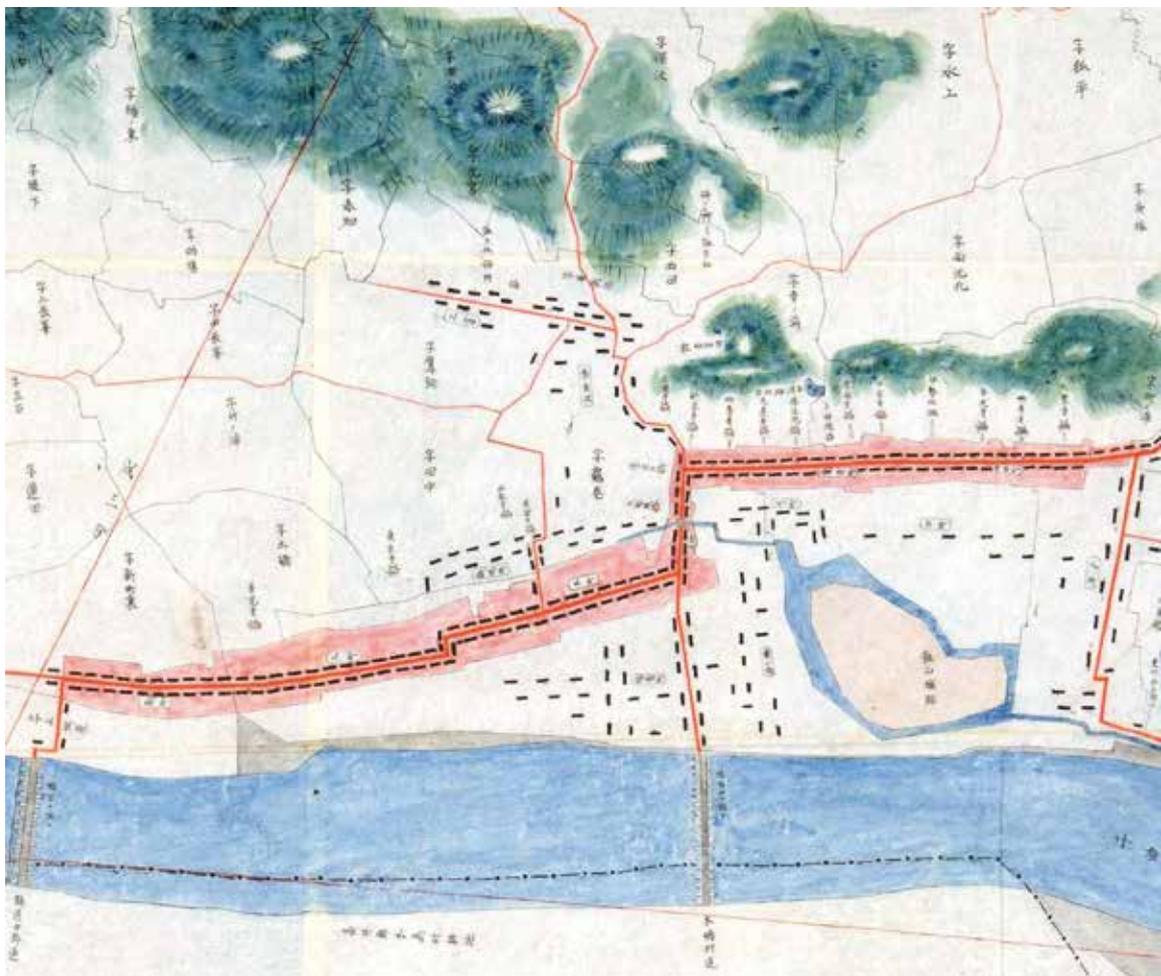
### 飯山藩

飯山は飯山藩の城下町です。慶長8年(1603)徳川家康は北信全域を六男の松平忠輝に与え、忠輝は松代城に入りました。この時、忠輝の配下の皆川広照は4万石を分与され、飯山城に入りました。これが飯山藩の始まりです。その後は堀氏、佐久間氏、松平氏、永井氏、青山氏と藩主が替わりましたが、享保2年(1717)に本多氏が2万石で飯山に入り、幕末まで本多氏の飯山藩が続きました。

### 飯山城

城下町の中心となる飯山城は、「飯山城跡」と記されています。周囲を堀が囲んでいますが、東側を流れる千曲川が外堀の働きをしていることがよく分かります。飯山城ばかりでなく、長沼城、松代城、上田城、小諸城といった東北信の城はいずれも千曲川沿いにある、千曲川を外堀として利用しています。このうち松代城と上田城は、後に千曲川の流路が変わったので、現在は千曲川との関係が分かりにくくなっています。

飯山は富倉峠を隔てて越後と接していて、越後からの入口に当たっています。現在も北陸新幹線が飯山を通っているのはそのことを示しています。上杉謙信はそうした飯山に、信濃に進出する拠点として飯山城を築いたのです。しかし川中島合戦



飯山町の図(長野県立歴史館蔵)

によって武田信玄が北信全域に進出し、飯山付近でも上杉方と戦うようになりました。天正10年(1582)に武田氏が滅びると、上杉景勝は飯山城に城代を置いて治めさせました。

### 武家屋敷

武家屋敷は、千曲川の流れる東側を除いて、城の北、西、南の三方に配置されています。城の北に「北町」、西に「田町」「弓町」、南に「広小路」「福寿町」といった町名が記されています。小さな黒い長方形が武家屋敷の分布を示しています。下級武士は独立した屋敷ではなく、長屋に住んでいました。飯山城跡の南側にある現在の飯山小学校や飯山市役所は、武家町の跡に建てられていることが分かります。

### 三町から五町へ

飯山城を取り囲む武家町に対して、商人町は谷街道に沿って発達しています。屋代宿で北国街道と分かれた谷街道は、松代、須坂、中野を経て、図の左下の綱切橋を渡り、飯山城下に入ります。また長野市若槻地区にあった新町宿<sup>あらまち</sup>で北国街道と分かれ、現在の飯山線沿いに来た道は、図の左下から一直線に飯山城下に入ります。

この図では街道沿いに、「新町」「上町」「本町」「肴町<sup>さかなまち</sup>」「愛宕町」「神明町」といった町々が連なっています。この内最も古いのは、上町、本町(下町)、肴町の三町で、天正11年(1583)に町が造られたとされています。また慶長年間に山際に「愛宕社」と「伊勢社」がまつられると、それぞれの門前に「愛宕町」と「神明町」(伊勢町)が発展し、合わせて五町となりました。また江戸時代中期になると、上町の南に新町が形成されました。

### 山麓に並ぶ寺院

「愛宕町」「神明町」の西側の山麓には、南(左)から、忠恩寺、称念寺、妙専寺、光蓮寺、徳法院、千明院、常福寺、西念寺、本光寺、妙専寺、大聖寺が連なっています。これらは江戸時代の初期に配置されたもので、飯山特有の景観を形成してい



平成6年(1994)に復元された飯山城の城門

ます。こうした寺院群を背景に、愛宕町は飯山仏壇の町として発展しました。

### 千曲川の船橋

この図では、舟を並べてその上に板を置いた船橋が、千曲川に2つ描かれています。左は現在の綱切橋で、「幅百十間ヨ(余)」(約200m)、右は現在の中央橋で、「幅百四十間ヨ(余)」(約255m)と書かれています。これらの橋は江戸時代は渡し場で、張った綱を手繰って舟を渡していました。綱切橋には、川中島合戦の時、上杉謙信が綱を切って逃げたという伝説があります。

### 飯山鉄道

現在の飯山線は、大正10年(1921)に私鉄の飯山鉄道として、豊野・飯山間が開通したことに始まりました。大正12年(1923)には桑名川まで、大正14年(1925)には森宮野原まで開通し、全通したのは昭和4年(1929)のことです。

飯山町内では「字田中」に飯山駅が置かれ、線路は「肴町」を分断して南北に敷かれて、飯山町を東西に二分することになりました。平成27年(2015)の北陸新幹線の延伸によって、飯山駅は300mほど南に移動しました。

6月号は「須坂」の予定です。

この頁は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫](#) すかい

◆自分や家族の将来に「金銭的な不安」があるか

「不安がある」78% 「不安はない」16% 「分からない」6%

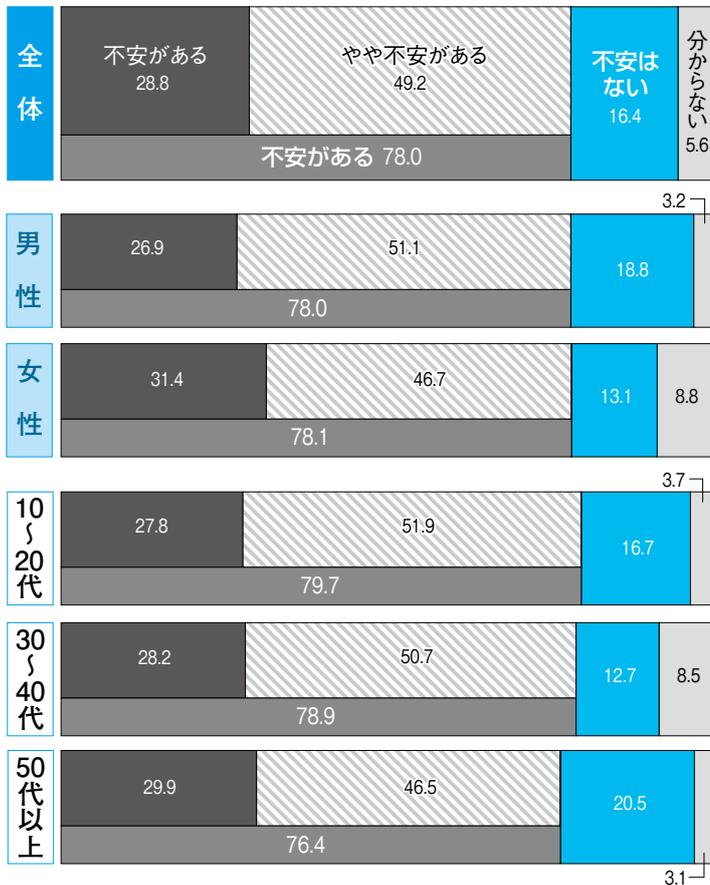
「現在、自分や家族の将来に金銭的な不安があるか」を聞きました。

全体を見ると、「不安がある」(29%)と「やや不安がある」(49%)を合わせた「不安がある」は78%、「不安はない」は16%、「分からない」は6%でした。

男女別で見ると、男性の「不安がある」は78%、「不安はない」は19%、「分からない」は3%、女性は同様に78%、13%、9%となり、大差はありません。

世代別で見ると、10~20代の「不安がある」は80%、「不安はない」は17%、「分からない」は4%、同様に30~40代は79%、13%、9%、50代以上は76%、21%、3%となり、わずかですが、若い世代ほど「不安がある」が多いという結果になりました。(当金庫・2024年3月調査)

●自分や家族の将来の「金銭的な不安」があるか(%)



●みなさまの税務相談のご案内 [6月]

(注)上の店名は開催場所、下の( )内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
6月 4日	火 若槻支店 (城北支店)	東長野支店 (柳原支店)	6月 18日	火 中野支店 (小布施支店)	山ノ内支店 (飯山支店)
6日	木 川中島支店 (川中島駅前支店)	本店営業部 (権堂支店・善光寺下支店)	21日	金 大門町支店 (桜枝町支店)	飯綱支店
7日	金 篠ノ井支店 (川柳支店)	松代支店 (更北支店)	24日	月 稲荷山支店 (屋代支店)	上山田支店 (戸倉支店・坂城支店)
11日	火 石堂支店 (伊勢宮支店)	七瀬支店 (南支店)	25日	火 本店営業部	古里支店 (吉田支店)
12日	水 長池支店 (大豆島支店)		26日	水 本 部	
14日	金 太子町支店 (須坂支店・墨坂支店)	豊野支店	28日	金 本 部	

